

令和6年度 学校評価（目標）

本年度の重点目標		一人一人を尊重し、その育ちと学びを大切にせる教育の充実 ①安心して学べる教育環境の整備 ②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実 ③地域とつながる学校づくりの推進 ④働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進		
項目（担当）		重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	① 安心して学べる教育環境の整備	一人一人の人権を尊重した適切な指導や支援を行い、児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。	スタディ会等で児童の生活年齢に合わせた言葉掛けや適切な指導・支援ができているか、適時、振り返る。	部会等で人権に関する話題を取り上げ、教職員の意識を高める。
	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	児童が主体的で深い学びができるよう、指導方法の充実を図る。	教職員が互いに授業を参観し、各学習集団の授業計画や授業改善に生かすことができるようにする。	授業参観できる機会を計画的に設ける。
中学部	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	生徒一人一人の将来の生活を見据え、中学部段階における指導方法の充実を図る。	現時点での進路希望を把握した上で個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、指導の充実を図る。	保護者、本人と進路についてよく話し合い、適切な進路選択に繋げる。
	③ 地域とつながる学校づくりの推進	地域資源を生かし、教育活動の充実を図ると共に、本校の活動をピーアールする。	校外での学習活動を進め、生徒の経験の幅を広げる。ホームページを活用し多様な情報を数多く発信する。	生徒の経験値を高められる活動を積極的に取り入れる。情報発信を頻繁に行う。
高等部	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	自分の考えや気持ちを伝える能力を高める。	さまざまな学習場面を通して、ICT機器を効果的に取り入れる。	学校生活全般のつながりを意識し、実際の生活に生かせる取組をめざす。
	④ 働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進	行事等の業務を整理し、意欲的かつ円滑に遂行する。	行事等の目的や内容を見直し整理する。業務のマニュアル化を進め、部内で共有する。	学習効果をより高められる方法を模索しながら、業務の効率化、共有化を進める。
訪問教育	① 安心して学べる教育環境の整備	保護者、医療、福祉等と連携を図り、児童が安心・安全に学習活動に取り組めるようにする。	保護者や関係諸機関の担当者や情報を共有することで、児童の生活環境を含めた状況把握に努め、指導に生かす。	個人情報の保護について十分に留意しながら情報を共有し、記録にまとめる。
	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	児童同士や周囲の人と関わり合う活動や体験的な活動を多く取り入れ、充実した学習活動ができるようにする。	教職員間の情報共有を密にし、タブレット端末等の効果的な活用や、教材教具の工夫をする。	限られた環境の中でも豊かな体験ができるように計画的に活動内容を設定する。
総務部	③ 地域とつながる学校づくりの推進	保護者や地域に向け、学校の取組や児童生徒の活動を魅力的に発信する。	他校の各たよりを参考にしながら学校だより、PTAだよりの内容やレイアウトを検討し、興味関心を深められるようにする。	新しい取組や本年度ならではの行事の掲載を充実させる。
	④ 働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進	業務内容の引継ぎをしっかりと行い、次年度の円滑な業務実施につなげる。	係分担を見直し、経験者が直接業務内容を伝えられるような体制を整える。	業務遂行がしやすい方法に変更した場合は、マニュアル変更を徹底し、定期的に確認し合う。
教務部	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	PDCAサイクルをより意識し児童生徒の学習の成果を的確に捉え、評価や授業改善につなげることができる。	ケース会やスタディ会を効果的に行えるよう、教務主任を中心に各部の取組を把握し、課題を共有して改善を図る。	必要に応じて部別主任者会等で検討するなど部の実態を踏まえながら進める。
	④ 働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進	教務部の業務についての引継ぎ資料やマニュアルの整理を進め、業務の効率化を図る。	教務部の業務の引継ぎ資料や年間予定についての資料を整え、担当者が代わっても、スムーズに業務が進められるようにする。	教務部会等で周知し、担当教務主任と連携して進められるようにする。
研修部	② 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	職員の研修や研究の充実を図る。	校内研修の日程調整や計画をする。校内研究では、各部代表やリーダーと連携を図り、円滑に進めていく。	研究に関する会議の内容を充実するとともに、つながりをもたせる。
	④ 働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進	特別支援教育の専門性や指導力の向上を図る。	外部機関主催のオンライン研修及び対面研修を周知する。アンケートを基にニーズに応じた夏季研修を計画する。	グループウェアや掲示板等を利用して確実に周知する。

項目 (担当)		重点目標	具体的方策	留意事項
教育 情報 部	② 教育的ニーズに 応じた指導・支援 の充実	ICT 機器を教育により生かす ことができるように、教職員 のスキルの向上を図る。	ICTに関する研修を行い、指導・支 援に生かせる情報を共有し、児童 生徒に還元できるようにする。	ICT 機器の操作に関する質問 や相談に対して、解決方法を 分かりやすく提示・支援する。
	③ 地域とつながる 学校づくりの推進	ホームページとおして情報発 信を進め、より多くの方に本 校教育に対する理解を深める ことができるようにする。	ホームページ作成手順の簡略化を 進め、閲覧しやすいホームペー ジを作成する。	個人情報等の使用や掲載に十 分留意して進めていくととも に、職員の情報発信への意識 を高める。
生 活 指 導 部	① 安心して学べる 教育環境の整備	教室等の安全確保を行い、地 震発生時における初期動作を 身につける。	定期的に減災訓練や身を守る行動 訓練を実施する。訓練結果を速や かに共有し、改善したことを次回 の訓練に生かすようにする。	使いやすく、情報が集約しや すいように安全点検書の書式 等を工夫する。
	② 教育的ニーズに 応じた指導・支援 の充実	児童、生徒の人権や障害特性 に応じた生活指導の充実を図 る。	ひいらぎ人権週間や児童生徒相談 活動を通して、人権や自分の生活 について考える機会を設定する。	児童生徒が学習しやすいよう に掲示物を工夫する。
進 路 指 導 部	② 教育的ニーズに 応じた支援・指導 の充実	円滑な進路選択ができるよう 、各家庭が希望する進路先 について適切な情報を提供す る。	進学や在宅就労など本校における 実績の少ない進路選択について、 各関係機関との連携を密に行い、 必要な情報を収集し提供する。	保護者や本人が十分に納得し たうえで進路選択ができるよ う、各家庭への聞き取りを丁寧 に行う。
	③ 地域とつながる 学校づくりの推進	各地域の企業や事業所、入所 施設等との連携を深め、進路 に関する情報提供を充実す る。	入所施設等の事業所へ訪問し、情 報収集をしたり、入所した卒業生 の保護者を講師として招いた研修 会を開催したりする。	収集した情報は、校内の閲覧 ブースや進路だよりなどで確 認できるよう整理する。
保 健 部	① 安心して学べる 教育環境の整備	医療的ケアや個に応じた保健 管理の安全な実施体制を整備 する。	保護者のニーズを理解し、安全に 学校生活を送ることができるよう 関係者と相談しながら進める。	保護者、指導医、学校医、主治 医と連携しながら、医療的ケ アや個別の案件に丁寧に対応 する。
	② 教育的ニーズに 応じた指導・支援 の工夫	学校保健活動に取り組み、生 活習慣や健康について支援の 充実を図る。	各委員会活動や学活、HR等を通 して、児童生徒自身が生活習慣に ついて考える機会を作る。	年間指導計画、委員会計画等 に取り入れる。成果や評価を 取組の中に取り入れる。
自 立 活 動 部	① 安心して学べる 教育環境の整備	安心、安全なプール指導の環 境を整備する。	プールの水質管理及び職員の実技 研修を計画的に実施する。教務部 や保健部と連携し安全にプール指 導ができる指導体制を組む。	職員のスキルに合わせて段階 的に研修する。当日の児童、生 徒の体調に応じて入水を決定 する。
	② 教育的ニーズに 応じた指導・支援 の充実	児童生徒の生活や学習面の教 育的ニーズに気付き、適切な 指導・支援ができるよう教員 の専門性を高める。	自立活動の目標設定や支援方法に ついての研修を実施し学ぶ機会を 増やす。外部専門家巡回相談を活 用する。	職員が参加しやすい夏季休業 中に重点的に研修を実施す る。必要時「流れ図(簡略版)」 を紹介し活用する。
教 育 支 援 部	② 教育的ニーズに 応じた指導・支援 の充実	相談活動を通して、児童生徒 の障害特性に応じた指導方法 の工夫や支援の充実を図る。	ひいらぎ校内相談や AT 相談を実 施する。校内にある AT 機器を指導 に生かせるよう準備していく。	教育情報部と連携し校内の AT 機器の使い方を確認して紹介 し、活用できるようにする。
	③ 地域とつながる 学校づくりの推進	地域における特別支援教育の センター的機能の役割を果た す。	支援指導検討会、巡回相談等の相 談事例について事前に検討し、適 切な助言ができるようにする。	相談後の情報共有を行い、今 後の相談につなげていくよう にする。
学校関係者評価を実施 する主な評価項目		一人一人を尊重し、その育ちと学びを大切に教育の充実 ①安心して学べる教育環境の整備 ②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実 ③地域とつながる学校づくりの推進 ④働きがいのある魅力的な教育環境づくりの推進 ⑤いじめ防止に向けた取組		